

# 警報・通知の理解ガイド

## (日本版・災害対策用)

### 目次

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 1. 国が発信する緊急情報（最優先で行動が必要） ..... | 2 |
| ● Jアラート（全国瞬時警報システム） .....      | 2 |
| 2. 気象庁が発表する警報・注意報 .....        | 3 |
| ● 気象警報・注意報 .....               | 3 |
| ● 緊急地震速報（警報） .....             | 3 |
| ● 津波警報・注意報 .....               | 4 |
| 3. 自治体が発信する防災情報 .....          | 5 |
| ● 避難情報（2021年改定後） .....         | 5 |
| ● 防災行政無線（屋外スピーカー） .....        | 5 |
| ● Lアラート（災害情報共有システム） .....      | 5 |
| 4. スマホに届く緊急通知 .....            | 7 |
| 📠 緊急速報メール（携帯各社） .....          | 7 |
| 📱 自治体アプリ・防災アプリ .....           | 7 |
| 5. その他の重要な通知 .....             | 7 |
| 🔥 火山情報（気象庁） .....              | 7 |
| 🌊 洪水・河川情報（国交省） .....           | 8 |
| 🧪 化学物質事故・有害物質情報 .....          | 8 |
| 6. 行動判断の優先順位 .....             | 8 |
| 7. 家庭向けチェックポイント .....          | 8 |
| 8. 子ども向け簡易版 .....              | 8 |

# 1. 国が発信する緊急情報（最優先で行動が必要）

## ● Jアラート（全国瞬時警報システム）

発信者：国（内閣官房・消防庁等）

目的：国民の生命に直結する“即時行動”が必要な事態を通知

### 主な配信内容

- 弾道ミサイル情報
- 航空攻撃情報
- ゲリラ・特殊部隊攻撃情報
- 大規模テロ情報
- 緊急地震速報（一般向け）
- 津波警報（大津波・津波）
- 火山噴火警報（居住地域向け）

### 届く手段

- 防災行政無線（屋外スピーカー）
- スマホの緊急速報（エリアメール／緊急速報メール）
- テレビ・ラジオ
- 自治体の防災アプリ

### 行動のポイント

- 「直ちに避難」レベルの情報
- 内容の正確な理解より「即行動」を優先
- 原則として自己判断はしない
- 屋内避難・遮蔽物利用など即行動

## 2. 気象庁が発表する警報・注意報

### 気象警報・注意報

発信者：気象庁

#### 種類

- 特別警報（命を守る行動）  
大雨・大雪・暴風・暴風雪・波浪・高潮
- 警報（重大な災害の恐れ）
- 注意報（災害の可能性あり）

#### 行動のポイント

- 特別警報は \*\*避難完了が前提\*\*
- 警報は \*\*避難判断の基準\*\*
- 注意報は \*\*早期警戒\*\*

### 緊急地震速報（警報）

発信者：気象庁

#### 種類

- 緊急地震速報（警報）：最大震度5弱以上が予想される場合に発表
- 緊急地震速報（予報）：震度3以上が予想される場合など、主に報道・アプリ向け

#### 行動のポイント

- 身を守る行動を即実施
- 揺れが来るまで数秒～十数秒

## 津波警報・注意報

発信者：気象庁

### 種類

- 大津波警報（10m 級の可能性）
- 津波警報（3m 級）
- 津波注意報（1m 級）

### 行動のポイント

- 警報＝即避難
- 注意報でも海岸・河口から離れる

### 3. 自治体が発信する防災情報

#### ● 避難情報（2021 年改定後）

発信者：市区町村

##### レベル別

- レベル 5：緊急安全確保（すでに災害発生）
- レベル 4：避難指示（必ず避難）
- レベル 3：高齢者等避難
- レベル 2：避難行動の確認
- レベル 1：早期注意

##### 行動のポイント

- レベル 4 で全員避難
- レベル 3 は高齢者・乳幼児・障がい者が先に避難

#### ● 防災行政無線（屋外スピーカー）

- J アラートの内容
- 避難情報
- 行方不明者情報
- 火災情報
- 水防情報

##### 行動のポイント

- 聞き取れない場合は自治体サイト・SNS で確認

#### ● L アラート（災害情報共有システム）

発信者：自治体・ライフライン事業者

目的：避難情報・災害情報をテレビ・アプリ・ネットに一斉配信する共通基盤

##### 住民が受け取る情報の例

- 避難指示（レベル 4）

- 避難所開設情報
- 河川水位・洪水情報
- 断水・停電・ガス供給情報
- 交通・ライフライン情報

### 届くメディア

- テレビの L 字画面・データ放送
- Yahoo!防災速報などのアプリ
- ポータルサイト
- デジタルサイネージ

### 特徴

- 住民に直接通知はしない（BtoB 基盤）
- 自治体が 1 回入力すれば、多数のメディアに一斉配信される
- 避難情報の伝達速度と正確性を高める役割

## 4. スマホに届く緊急通知

### 緊急速報メール（携帯各社）

- Jアラート
- 緊急地震速報
- 津波警報
- 避難情報（レベル4以上）

#### 特徴

- 強制受信（設定で OFF にできない項目あり）
- 圏外・電源 OFF では受信不可

### 自治体アプリ・防災アプリ

- Yahoo!防災速報
- NHK ニュース防災
- 各自治体アプリ

#### 特徴

- 位置情報に基づく通知
- 詳細情報が得られる

## 5. その他の重要な通知

### 火山情報（気象庁）

- 噴火警報（居住地域）
- 噴火警報（火口周辺）
- 噴火予報



## 洪水・河川情報（国交省）

- 氾濫危険情報
- 氾濫発生情報
- 水位情報



## 化学物質事故・有害物質情報

- 自治体・消防が発信
- 工場事故・ガス漏れなど

## 6. 行動判断の優先順位

1. J アラート（国）
2. 緊急地震速報・津波警報（気象庁）
3. 避難情報（自治体）
4. 気象警報・特別警報（気象庁）
5. 防災アプリ・ニュース

## 7. 家庭向けチェックポイント

- スマホの 緊急速報設定を確認
- 家族で避難レベルの意味を共有
- 防災アプリを最低2つ入れる
- 高齢者・子ども向けに通知の意味を簡易化した説明を準備
- 夜間・就寝時の通知に備え、枕元にライト・靴を置く

## 8. 子ども向け簡易版

- 大きな音の通知＝すぐに身を守る
- 地震の通知＝机の下へ
- 津波の通知＝海から離れる
- 避難の通知＝大人と一緒に、決めた場所へ行く